2025年度 シラバス（授業細目表）

科目名	資格取得 フラワー装飾技能士2級			履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	5月～6月	時間数	45		単位数	1.5
授業概要	フラワー装飾技能士2級合格を目指し、デザインにおける基本的な知識と技術を習得する。	到達目標	フラワー装飾技能士2級合格			
担当教員 プロフィール	山崎佳代子 公益社団法人日本フラワーデザイナー協会本部講師。職業訓練指導員。1級フラワー装飾技能士。技術指導者としての経験と資格をもって、正確な技術指導を行い全員合格を目指す。 小池智子 公益社団法人日本フラワーデザイナー協会本部講師。職業訓練指導員。1級フラワー装飾技能士。技術指導者としての経験と資格をもって、正確な技術指導を行い全員合格を目指す。					
テキスト・教材	学科問題集 実技試験問題（プリント）					
成績評価方法	筆記試験50% レポート0% 実技50% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験に合格すること。		

授 業 計 画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	5/23金 AM	試験内容説明 実技演習①	試験内容説明 課題1 花束A	講義・演習
2	5/23金 PM	実技演習②	課題2 トライアングラー・ファン	演習
3	5/30金 AM	実技演習③	課題1 花束B・花束A	演習
4	5/30金 PM	実技演習④	課題3 キャスケード	演習
5	6/6金 AM	実技演習⑤	課題2 ホリゾンタル 他	演習
6	6/6金 PM	実技演習⑥	課題3 クレセント	演習
7	6/13金 AM	模擬試験①	課題1 花束 課題2 アレンジメント	演習
8	6/13金 PM	模擬試験②	課題3 ブーケ	演習
9	6/20金 AM	模擬試験③	課題1 花束 課題2 アレンジメント	演習
10	6/20金 PM	模擬試験④	課題3 ブーケ	演習
11				
12				
13				
14			※授業を2/3以上出席したが資格を取得できなかった場合、15時間（0.5単位）を認定する	
15			※出席時数が2/3以下で資格を取得した場合、15時間（0.5単位）を認定する	
16				

他教科との関連 フラワーデザイン	欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	備考 入学前にすでに資格を取得しているものは、30時間（1単位）認定する。

2025年度 シラバス（授業細目表）

科目名	資格取得 フラワー装飾技能士3級			履修区分	必修	選択
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	6月～7月	時間数	45		単位数	1.5
授業概要	フラワー装飾技能士3級合格を目指し、デザインにおける基本的な知識と技術を習得する。	到達目標	フラワー装飾技能士3級合格			
担当教員 プロフィール	高野真樹子 1級フラワー装飾技能士。本校教員・実習店舗スタッフ兼務。技術指導者としての経験と資格をもって、正確な技術指導を行い全員合格を目指す。 水本寿美江 1級フラワー装飾技能士。本校教員として10年以上フラワーデザインの技術指導に携わる。技術指導者としての経験と資格をもって、正確な技術指導を行い全員合格を目指す。					
テキスト・教材	学科問題集 実技試験問題（プリント）					
成績評価方法	筆記試験50% レポート0% 実技50% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験に合格すること。		

授 業 計 画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	6/6金 AM/PM	試験内容説明 実技演習①	試験内容説明 リボン・ブートニアの制作方法を学ぶ	講義・演習
2	6/13金 AM/PM	実技演習②	花束の制作方法を学ぶ リボン・ブートニアの制作方法復習	演習
3	6/20金 AM/PM	実技演習③	花束の制作方法復習 アレンジメントの制作方法を学ぶ	演習
4	6/27金 AM	実技演習④	アレンジメントの制作方法復習 課題①・②・③のチェックポイント確認	演習
5	7/4金 AM	模擬試験①	本番同様に時間を計って実技試験復習	演習
6	7/11金 AM	模擬試験②	本番同様に時間を計って実技試験復習	演習
7	7/18金 AM	模擬試験③	本番同様に時間を計って実技試験復習	演習
8				
9				
10				
11				
12				
13			※授業を2/3以上出席したが資格を取得できなかった場合、15時間（0.5単位）を認定する	
14			※出席時数が2/3以下で資格を取得した場合、15時間（0.5単位）を認定する	
15				
他教科との関連 フラワーデザイン		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。		備考 入学前にすでに資格を取得しているものは、30時間（1単位）認定する。

2025年度 シラバス（授業細目表）

科目名	資格取得 園芸装飾技能士3級		履修区分	必修	選択
受講対象	2年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習
開講時期	5月～7月	時間数	45	単位数	1.5
授業概要	園芸装飾技能士3級合格を目指し、必要な知識と技術を習得する。 1年次の選択「園芸装飾」受講は必須	到達目標	園芸装飾技能士3級合格		
担当教員 プロフィール	狩野歩 大学・専門学校で園芸を学び、インドアガーデンや造園・貸植木の会社で実務経験を積む。現在は、おにもに植栽関連の仕事に従事。園芸装飾技能士1級・職業訓練指導員免許を持つ。豊富な実務経験をもとに、より実践的な指導で合格を目指す。				
テキスト・教材	園芸装飾必携 過去問題集				
成績評価方法	筆記試験0% レポート0% 実技90% 発表0% その他（出席率・授業態度など）10%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験に合格すること。		

授 業 計 画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	5/29木 PM	技能検定に向けて①	検定で使用する道具・資材の説明・学科対策	講義
2	6/5木 PM	技能検定に向けて②	緑化杉テープの取り扱い方の説明・学科対策	講義・演習
3	6/12木 PM	技能検定に向けて③	つき棒・竹べらづくり・学科対策	講義・演習
4	6/19木 PM	技能検定に向けて④	講師による技能検定実技課題のデモンストレーション	講義・演習
5	6/26木 AM/PM	技能検定に向けて④	実技試験反復練習	演習（Aグループ）
6	6/27金 AM/PM	技能検定に向けて⑤	実技試験反復練習	演習（Aグループ）
7	7/3木 AM/PM	技能検定に向けて⑥	実技試験反復練習	演習（Bグループ）
8	7/4金 AM/PM	技能検定に向けて⑦	実技試験反復練習	演習（Bグループ）
9				
10				
11				
12				
13			※授業を2/3以上出席したが資格を取得できなかった場合、15時間（0.5単位）を認定する	
14			※出席時数が2/3以下で資格を取得した場合、15時間（0.5単位）を認定する	
15				
他教科との関連 園芸装飾		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。		備考 入学前にすでに資格を取得しているものは、30時間（1単位）認定する。

2025年度 シラバス (授業細目表)

科目名	資格取得 カラーコーディネーター スタンダードクラス		履修区分	必修	選択	
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	9月～10月		時間数	45	単位数	1.5
授業概要	カラーコーディネーター スタンダードクラスの合格を目指し、色彩の基礎知識を身に付ける。	到達目標	カラーコーディネーター スタンダードクラス合格			
担当教員 プロフィール	菅原奈美 女子美術大学大学院美術研究科デザイン専攻修士課程修了。 植物染色、色彩学を専門とし、天然染料の媒染剤の違いによる染め色の傾向などを研究。					
テキスト・教材	カラーコーディネーター検定試験スタンダードクラス公式テキスト プリント教材 新配色カード199a 自作プリント					
成績評価方法	筆記試験100% レポート0% 実技0% 発表0% その他 (出席率・授業態度など) 0%	認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験に合格すること。			

授 業 計 画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	9/3水 PM	色の基本事項(光と色・色の三属性) PCCS	色とは何か、光と色や色の三属性について解説する。色彩学習の基本となるシステムPCCSについて理解させる。	講義・演習
2	9/10水 PM	色の表示方法(色名・マンセル表色系)	色の表示方法の分類について、JISに採用されている色名とマンセル表色系をメインに理解させる。	講義・演習
3	9/17水 PM	配色を知る	美しい配色とは何か、色彩調和論について解説し、色相・明度・彩度・トーンによる配色について配色カードで配色を行い理解させる。	講義・演習
4	9/24水 PM	配色を使いこなす	ナチュラルハーモニーなどの配色用語や技法を学ぶ。配色カードやカラーチャートを使い配色の理解を深めさせる。	講義・演習
5	10/1水 PM	色を美しく見せる光のマジック	色の元となる光。光から生まれる様々な色の現象とその応用事例を解説し、さらに、色を見る環境を決める照明の重要性について理解させる。	講義・演習
6	10/8水 PM	背景色を上手に使って色の見えを変えてみよう	光を色と認識するまでの生理学的な内容(眼・脳)を学習する。色の組み合わせで変化する色の見え方や視覚効果について解説する。	講義・演習
7	10/15水 PM	色で売上をアップするために 配色技法について集中トレーニング	売れる色を生み出すための、調査分析方法や、色を開発するプロセスなどを解説。さらに様々な配色技法をおさらいし理解を深めさせる。	講義・演習
8	10/22水 PM	模擬問題および解説	模擬問題を解き理解度を確認する。	講義・演習
9				
10				
11				
12			※授業を2/3以上出席したが資格を取得できなかった場合、15時間(0.5単位)を認定する	
13			※出席時数が2/3以下で資格を取得した場合、15時間(0.5単位)を認定する	
14				
15				
他教科との関連 カラーコーディネーター		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。		備考 入学前にすでに資格を取得しているものは、30時間(1単位)認定する。

2025年度 シラバス（授業細目表）

科目名	資格取得 リテールマーケティング3級		履修区分	必修	選択	
受講対象	1年生 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	10月～1月		時間数	45	単位数	1.5
授業概要	リテールマーケティング3級の合格を目指し、販売小売業の基礎知識を身に付ける。	到達目標	リテールマーケティング3級合格			
担当教員 プロフィール	日本販売士協会認定登録講師。販売事務・計数管理の基礎をわかりやすく解説、授業展開を行う。コンサルティング会社代表取締役であり、経営コンサルティング及び役員・社員向けのビジネスリテラシーの講師を行う。簿記1級・販売士1級取得。 武石美則					
テキスト・教材	3級リテールマーケティング検定養成講習会ハンドブック 自作プリント 電卓					
成績評価方法	筆記試験100% レポート0% 実技0% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験に合格すること。		

授 業 計 画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	10/28火 AM	小売業の類型①	流通における小売業の基本 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
2	11/4火 AM	小売業の類型②	店舗形態別小売業の基本的役割 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
3	11/11火 AM	販売・経営管理①	販売員の法令 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
4	11/18火 AM	販売・経営管理② 予備試験	計数管理の基本 他 「販売・経営管理」科目免除のための予備試験	講義・演習
5	11/25火 AM	マーチャダイジング①	商品の基本 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
6	12/2火 AM	マーチャダイジング②	販売計画・仕入れ計画の基本 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
7	12/9火 AM	ストアオペレーション①	包装技術の基本 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
8	12/16火 AM	ストアオペレーション②	ディスプレイの基本 講義内容理解度テスト	講義・演習
9	1/7水 AM	マーケティング①	小売業のマーケティングの基本 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
10	1/13火 AM	マーケティング②	リージョナルプロモーション 他 講義内容理解度テスト	講義・演習
11	1/14水 AM	科目別復習①	「小売業の類型」模擬問題 解答・解説・採点	講義・演習
12	1/20火 AM	科目別復習②	「マーチャダイジング」模擬問題 解答・解説・採点	講義・演習
13	1/21水 AM	科目別復習③	「ストアオペレーション」模擬問題 解答・解説・採点	講義・演習
14	1/27火 AM	科目別復習④	「マーケティング」模擬問題 解答・解説・採点	講義・演習
15	1/28水 AM	総合模擬試験	受験直前全科目総合模擬試験 解答・解説・採点	講義・演習
※授業を2/3以上出席したが資格を取得できなかった場合、15時間（0.5単位）を認定する ※出席時数が2/3以下で資格を取得した場合、15時間（0.5単位）を認定する				

他教科との関連	欠席者に対するペナルティ	備考
ショップ会計の基礎知識	特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。	入学前にすでに資格を取得しているものは、30時間（1単位）認定する。

2025年度 シラバス（授業細目表）

科目名	資格取得 NFD3級・2級			履修区分	必修	選択
受講対象	全学年 全コース	授業形態	講義	実習	演習	見学
開講時期	12月・2月	時間数	45		単位数	1.5
授業概要	花の業界で認知度の高いフラワーデザインの資格、NFD（日本フラワーデザイナー協会）の技術資格試験合格を目指し、デザインにおける基本的な知識と技術を習得する。	到達目標	それぞれが目指す級の合格を目指す			
担当教員プロフィール	山崎佳子 公益社団法人日本フラワーデザイナー協会本部講師。職業訓練指導員。1級フラワー装飾技能士。技術指導者としての経験と資格をもって、正確な技術指導を行い全員合格を目指す。 小池智子 公益社団法人日本フラワーデザイナー協会本部講師。職業訓練指導員。1級フラワー装飾技能士。技術指導者としての経験と資格をもって、正確な技術指導を行い全員合格を目指す。					
テキスト・教材	NFDフラワーデザイナー 資格検定テキスト					
成績評価方法	筆記試験50% レポート0% 実技50% 発表0% その他（出席率・授業態度など）0%		認定基準	出席時数が全授業時数の3分の2以上、かつ試験に合格すること。		

授 業 計 画

回	月日	指導項目	指導内容	備考
1	12/24水 AM	試験内容説明 実技演習①	試験内容説明 出題テーマ、支給花材は試験日の1ヶ月前の同日に発表	講義・演習
2	12/24水 PM	実技演習②	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
3	12/25木 AM	実技演習③	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
4	12/25木 PM	実技演習④	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
5	2/3火 AM	実技演習⑤	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
6	2/3火 PM	実技演習⑥	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
7	2/5木 AM	実技演習⑦	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
8	2/5木 PM	実技演習⑧	各級の出題テーマに合わせた実技演習	演習
9				
10				
11				
12			※授業を2/3以上出席したが資格を取得できなかった場合、15時間（0.5単位）を認定する	
13			※出席時数が2/3以下で資格を取得した場合、15時間（0.5単位）を認定する	
14				
15				
他教科との関連 フラワーデザイン		欠席者に対するペナルティ 特にはないが、出席時数が3分の2に満たない場合は単位認定不可となり、補講は行わない。		備考 入学前にすでに資格を取得しているものは、30時間（1単位）認定する。